



お経のことば



お前はすぐに往き、その女人にこう言え、『私の言葉は真心よりで嘘はありません。生まれて以来一度も人を殺めたことはありません。これを本当だと思えば、お腹の子は必ずもうじき生まれます。安穩で何の心配もありません。』と。

**鳩掘摩経
訳 つばめ堂通信**

方便という言葉の本当の意味をご存知でしょうか？『嘘も方便』とはよく使われる諺ですが、現代では『都合の良い悪意のない嘘』のように解釈されています。そもそもの由来は前回でも紹介した法華経の中に方便品という章があり、それが『お釈迦様はいろんな表現を巧みに用いてあらゆる人々を教化していく』という内容であることから生まれた言葉です。今回のお経のことばは、真の方便とも言うべき一節をご紹介します。

オウクツマ

阿含部と呼ばれる原始経典群の一部に属する鳩掘摩経は別名『アングリマーラの物語』として有名です。その大きな理由は、実はアングリマーラが元殺人者であるからです・・・。

かつて悪い人間にそそのかされて99人もの人間を殺めてしまった彼は、100人目に手をかける間際にお釈迦様に出会い弟子となり、心から悔い改め改心し、道行けば人々からの侮辱やリンチの目に合うも、それを自らの報いであると耐え忍び、修行を続けていました。

そんなある日、托鉢先で出会った妊婦が予定日を過ぎてもまだ前兆が無いことの不安から、彼に救いを求めてきました。過去に多くの人の命を奪ってしまった彼の心には深い自責の念があり、またそんな自分に人を救う資格など無いという思いもあったのか、彼はお釈迦様に自分はどうすればよいのか教えを乞います。そんな彼に向けてお釈迦様が言わされたのが上の言葉です。

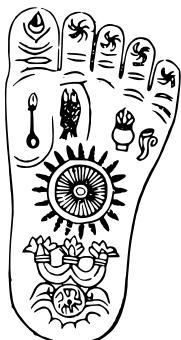
当然アングリマーラは戸惑います。すると、お釈迦様は彼を諭すのです。「前の生涯とは世を異にして、今の生と同じではない。 教えたように言っても、これで嘘とは為らないのだ。 このように時の違いを用いて彼の女の災難を救え。」

・・・何と勇気を与える言葉でしょう。アングリマーラはすぐさま妊婦のところに戻り、お釈迦様が云われたように言いました。すると言い終わらぬうちに陣痛が始まり、無事元気な赤ちゃんが生まれたのでした。

お釈迦様のこの意外な返答にはいろんな解釈ができますが、私は初めてこの物語を読んだ時、あまりの感動で本当に涙しました。

99人もの人間を殺したアングリマーラの罪は、確かに計り知れないほど重いのですが、そのことに苛まれ続け目の前の妊婦の不安さえ拭えない彼に、お釈迦様の理屈を超えた方便の喝が飛んだのではないでしょうか。

このように真の方便とは、人の魂を揺さぶり勇気を与え善を成す言葉なのです。この話で本当の意味で救われたのは妊婦でもお腹の赤ちゃんでもなく、かつて99人もの人間を殺めてしまった一人の僧侶の心ではないでしょうか。



● 3月21日(月)(祝日) 献茶彼岸会 ヒガシエ

午前10時 と 午後2時

● 4月24日(日曜日) 大瀧山でヨガをする日

大瀧山の頂上にて、自然の中でヨーガをします。

● 毎月28日 柱源護摩供とヨーガ体操(無料)

本堂の護摩壇で炎を上げて祈祷と供養をしています。

午前9時と午後3時の2回です。・ヨーガ体操については別紙参照

※葬儀が重なると変更される場合があります。ご了承下さい。

護国寺

781-2155

高知県高岡郡日高村九頭291

☎ 0889-24-7244

ホームページ gokokuji.site

仏事に関するお悩み、ご質問、

行事に関するお問い合わせ等、

お気軽にお電話ください。

